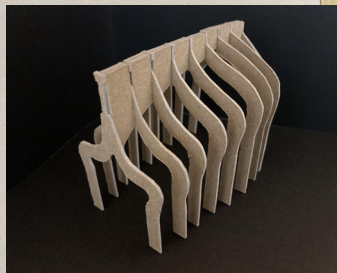
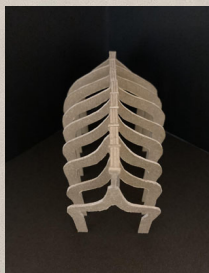


庭先の ヴンダーカンマー

16 世紀のヨーロッパで作られた、
様々な珍品を集めた博物陳列室、ヴンダーカンマー。
「驚異の部屋」とも呼ばれたその部屋を、標本収集が趣味である
施主(夫)のために、庭先に設えた。

STRUCTURE

造船業が盛んな焼津市に伝わる、木造造船技術を用いた舟底屋根



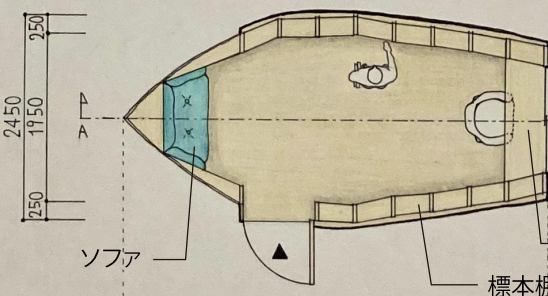
船首側から船尾側を
見た様子

手前：船尾側 奥：船首側
船底をひっくり返した形を、構造として用いている

平面図

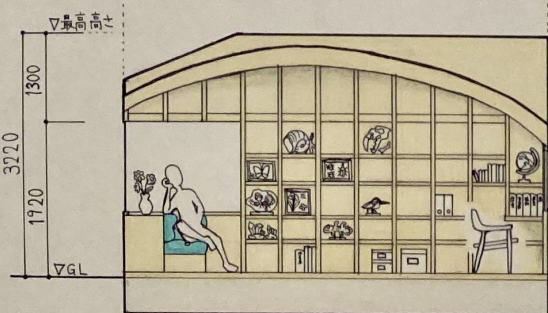
SCALE : 1/50

450 450 450 450 450 450 450 450



標本棚は虫や剥製が苦手な妻のために
母屋からは見えない造りになっている。
離れ西側にある備え付けのソファからは
標本棚と母屋、周りの緑が見渡せる。

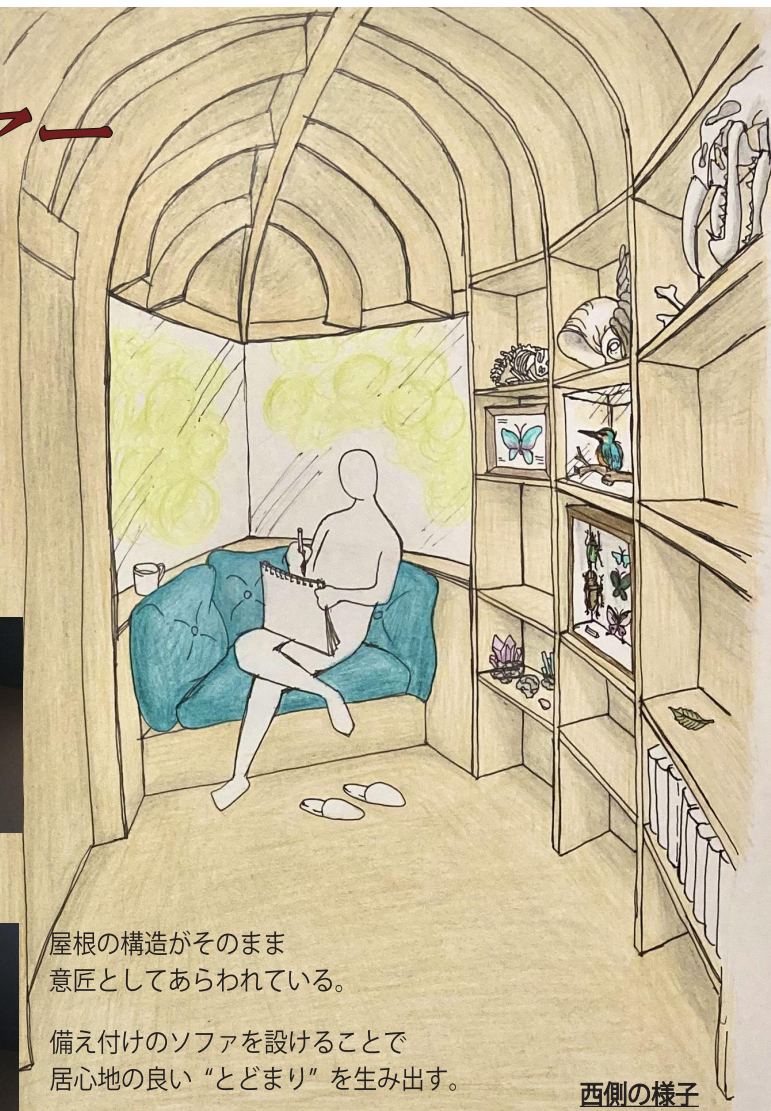
好きなもの全てに
手の届く“近さ”



A-A' 断面

棚は奥行き 250mm、幅 450mm の
造りになっている。高さは 400mm
と 300mm の二種類あり、物のサイズ
に合わせて収まりよく収納できる。

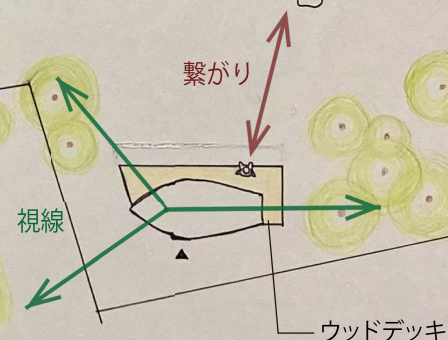
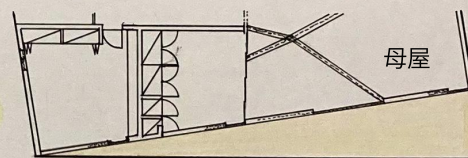
400 300 400 300 400
▽G.L.



西側の様子

配置図

SCALE : 1/150



離れのウッドデッキを母屋の縁側と
連続させることで、両者を離しつつ、繋ぐ

